

青谷梅林



梅まつり 鑑賞ウォーク

担当 4 班



前日の雨も夕刻にはすっかり上がり、少し肌寒かった天気も、だんだんと穏やかな春の陽ざしに恵まれました。

堂山見晴台では眼下に広がる木津川の眺めを楽しみ、また、水本さんご指導の元「万葉の梅の花を詠んだ歌」を皆で朗詠しました。

青谷梅林では、ほのかな梅の甘酸っぱい香りに包まれ、早春の青空に映える紅白の梅見を楽しみながら、昼食をとることができました。

午後からは、梅農家の方の案内で、道沿いや家々の梅を鑑賞しながら、青谷の歴史や梅林の取り組みについてお聞きしました。

また、ケヤキやクスノキ、ムクノキなどの古木や名木にも触れ、春を感じる一日になりました。

実施日 2019年3月1日(金) 曇りのち晴れ
集合 JR 山城青谷駅 10:00
参加人数 70 名
行程 山城青谷駅出発 10:30 — 中天満神社 — 堂山見晴台—梅まつり会場
11:30~(昼食、班長会議)~12:30 — 山の神(三の口) — 堀井梅加工場
— 城陽酒造 — 賀茂神社 — 山城青谷駅解散 14:45 解散



〔所感〕

まわり一面の梅林はふくよかな香りにつつまれ、春近しの気配があった。

約1万本と言われる梅木は古木が随所にあり、歴史を感じさせる。

梅を栽培されている方に案内して頂き、梅にまつわる話を聞かせてもらったり、水本さんからは「万葉集と梅」のテーマで講話、城陽酒造では梅酒の香りをかいで、梅 梅 梅の一日でした。